

基 礎 分 野

14 単位 (360 時間)

<ねらい>

- 科学的思考を高め、自ら判断し行動ができる能力を養う。
- 国際化、情報化社会で活用する技能を養う。
- 社会の構造と機能、人間と社会の関わりを理解する。
- ヒューマニティに富み、対人関係における感性を養う。
- 人生の意義、生命の質を模索し自己の確立の手だてとなる。
- 人間を尊重した基本的態度を養う。
- より良い人間関係を成立するためのコミュニケーションの基礎を学ぶ。
- 身近な課題を見出し、解決していくプロセスを学ぶ。

<構 成>

教育内容	科 目	単位	時間数
科学的思考の基盤	哲学	1	30
	教育学	1	30
	日本語表現法	1	30
	情報科学	1	15
	看護物理学	1/5	30/135
人間と生活・社会の理解	コミュニケーション論	1	30
	心理学	1	30
	社会理解特論	1	30
	家族社会学	1	15
	人間関係論	1	15
	英語	1	15
	国際理解と言語	1	30
	保健体育	1	30
	共に学ぶ健康と生活	1/9	30/225
合 計		14	360

授業科目名	哲学			担当教員	横澤義夫		
分野	基礎分野	教育内容	科学的思考の基礎	総単位 時間数	1単位 30時間	年次	1年次

授業概要

人間とは何か、また生きる意味を考えるきっかけとする。人間は身体的、精神的、社会的、霊的側面を持ち、個別存在である。対象と自らの価値観を尊重し人生観を深めるとともに、生と死について考える。また、倫理学の基本を学び、看護倫理の礎とする。

授業のねらい

1. 哲学の抽象的な概念を学び、社会で生じている事象について深く考える。
2. 人生観を深めるとともに、自己の生き方を思索する。
3. 「人間関係・生・死・老い」について考える。
4. 倫理的行動について考える。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	哲学とは	講義/演習	
2	ギリシア人の生命観 ホメーロス:いのちの本質 魂	講義/演習	課題:授業でのレポート
3	神話からロゴスへ ホメーロス:人間探求の始まり いのちとしての人間	講義/演習	課題:授業でのレポート
4	人間探求 ソクラテス:対話と読弁	講義/演習	課題:授業でのレポート
5	こころとからだ アリストパネス:女の権利、理想と現実	講義/演習	課題:授業でのレポート
6	アリストパネスの人間論 いのちの根源としての欲求	講義/演習	課題:授業でのレポート
7	ソクラテスの靈魂論	講義/演習	課題:授業でのレポート
8	プラトンの二充論	講義/演習	課題:授業でのレポート
9	魂と愛 こころとからだの二元論	講義/演習	課題:授業でのレポート
10	心身二元論の克服	講義/演習	課題:授業でのレポート
11	アリストテレスと形而	講義/演習	課題:授業でのレポート
12	四原因と生命問題 物質、植物、動物、人間	講義/演習	課題:授業でのレポート
13	人間の条件 形而上学的対象としての人間	講義/演習	課題:授業でのレポート
14	環境世界と超越 福祉とは人格の形而上学	講義/演習	課題:授業でのレポート
15	天使論と福祉の段階 試験	試験	レポート

使用教科書・教材・参考書

なし

成績評価の方法

レポート100点

備考

授業科目名	教育学			担当教員	渡部 忠治		
分野	基礎分野	教育内容	科学的思考の基礎	総単位 時間数	1単位 30時間	年次	1年次

授業概要

人間形成における教育の機能と原理を学び、自己教育力、学習力を高め生涯学習へと繋げるとともに、看護活動において教育的役割に応用できる基礎を学ぶ。

授業のねらい

1. 人間形成における教育の機能と原理を学ぶ。
2. 教育のプロセスを理解し、主体的学習方法について理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	教育の本質と目的 教育の変遷	講義	
2	現代社会と教育 社会問題について教育的な接近からディスカッション	講義/演習	
3	現代社会と教育 社会問題について教育的接近からディスカッション	講義/演習	
4	発達と教育 戦争と医療と恋愛	講義/演習	
5	発達と教育 人間形成にとっての結婚の意味	講義/演習	
6	どんな看護師になりたいか	演習	
7	「生きがいについてグループワーク」	演習	
8	ノートのまとめ方	講義/演習	
9	看護における学習支援	講義/演習	
10	行動変容する・しないは何によるのか	講義/演習	
11	エンパワーメントアプローチ	講義/演習	
12	「大切なひとが健康行動へ前向きに取り組むように支援します」 支援内容、方法の検討	講義/演習	課題シート
13	「大切なひとが健康行動へ前向きに取り組むように支援します」 リーフレット作成	講義/演習	課題シート
14	「大切なひとが健康行動へ前向きに取り組むように支援します」 面接支援場面をロールプレイして発表する	演習/発表	課題シート
15	「私の使えるノート」 試験に使える、実習に使える、国家試験に使えるノート	演習/発表	解剖Ⅲ・Ⅳのノート作り

使用教科書・教材・参考書

なし
 <参考文献>「勉強方法」野口悠紀夫、「知的生産の技術」梅棹忠夫

成績評価の方法

レポート100点
 課題シート

備考

授業科目名	日本語表現法			担当教員	片倉 聡子		
分野	基礎分野	教育内容	科学的思考の基礎	総単位 時間数	1単位 30時間	年次	1年次

授業概要

論理の形式や構造を学び、物事を客観的にとらえる見方や自分の考えを深め、理解力と表現力を高める。主張を表現して客観的に添削していく。

授業のねらい

1. 論理の形式や構造を学ぶ。
2. 日本語を読み、書く力を養成する。
3. 自分の考えを深め、理解力と表現力を高める。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	自分を表現する	講義	
2	わかりやすい文章を書く	講義/演習	
3	日本語について考える	講義/演習	
4	正しい日本語を使う	講義/演習	
5	相手を尊重する気持ちを伝える文章 2)漢字演習	講義/演習	
6	相手にわかりやすく正確に伝える文章 2)漢字演習	講義/演習	
7	相手に伝わる説明をするには(1)	講義/演習	
8	相手に伝わる説明をするには(2)	講義/演習	
9	相手に伝わる説明をするには(3)	講義/演習	
10	メールを使う	講義/演習/発表	
11	レポートを書くために	講義/演習	
12	レポートを書く(表現編)	講義/演習	
13	レポートを書く(実践)	講義/演習	
14	レポートを書く(総まとめ)	講義/演習	
15	解説	講義/演習	

使用教科書・教材・参考書

なし

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業科目名	情報科学			担当教員	西村 依子		
分野	基礎分野	教育内容	科学的思考の基礎	総単位 時間数	1単位 15時間	年次	1年次

授業概要

情報科学の基礎的事項及び、医療・看護と情報システムの関わりについて学び、情報や個人情報保護について理解する。情報の活用能力の向上を目指し、検索の方法を学ぶ。

授業のねらい

1. 情報の活用能力の向上を目指して、情報の理論とコンピュータの実際を学ぶ。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	Windows 基本操作	講義	
2	文章の編集・保存	講義	
3	文書デザイン 図形の挿入	講義/演習	
4	文書デザイン 表の挿入、編集	講義/演習	
5	文書デザイン 画像挿入	講義/演習	
6	タイピングコンテスト ワード演習問題	講義/演習	
7	Excel基礎	講義/演習	
8	PowerPoint基礎	講義/演習	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

使用教科書・教材・参考書

教員が作成したプリント

成績評価の方法

ポスター作製100点

備考

授業科目名	看護物理学			担当教員	西條奈緒美		
分野	基礎分野	教育内容	科学的思考の基礎	総単位 時間数	1単位 30時間	年次	1年次

授業概要

看護技術や医療における検査・治療法に関する原理・原則の理解を深めるための知識や、安全で快適な作業環境、安全で使いやすい器具・技法、効率よく充実した生活環境を実現につなげる。

授業のねらい

1. 単位換算、計算の基礎事項を理解する。
2. 看護に必要とされる数式を理解し、応用できる力を身につける。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	単位換算とその応用	講義	
2	四則計算とその応用	講義	
3	割合に関する数式とその応用	講義	
4	溶液に関する数式とその応用(1)	講義	
5	比の計算とその応用	講義	
6	溶液に関する数式とその応用(2) (濃度変更式)	講義	
7	溶液に関する数式とその応用(3) (重量と体積)	講義	
8	輸液に関する数式とその応用(1) (滴下数)	講義	
9	輸液に関する数式とその応用(2) (滴下速度)	講義	
10	統計に関する数式とその応用	講義	
11	体格に関する数式とその応用	講義	
12	エネルギーに関する数式とその応用	講義	
13	臨床に関する数式とその応用(1)	講義	
14	臨床に関する数式とその応用(2)	講義	
15	試験/解説	試験/解説	

使用教科書・教材・参考書

教員作成の資料プリント

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業科目名	コミュニケーション論			担当教員	荻澤 健志 遠藤 のり子		
分野	基礎分野	教育内容	人間と生活・社会の理解	総単位 時間数	1単位 30時間	年次	1年次

授業概要

人間集団において活用される人間関係技法をもとに、よりよい人間関係づくりやコミュニケーションについて学び、看護活動やチーム医療の関係づくりにつなげる。

授業のねらい

1. その場の状況に合った適切な表現で相手に伝える。
2. 自他尊重のコミュニケーションがとれるようになる。
3. ロールプレイを通して、医療者として求められる対人コミュニケーションのスキル向上をはかる。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	対人コミュニケーション ・挨拶、気持ちのキャッチボール	講義/演習	
2	言語的メッセージと非言語的メッセージ	講義	
3	自己理解/他者理解 ・対人コミュニケーション	講義/演習	
4	ひとと関わる時の態度 ・アサーティブな自己表現	講義/演習	
5	積極的傾聴	講義	
6	相手に関心を持ち肯定的に聞く 違いを認める	講義/演習	
7	自他尊重	講義/演習	
8	自己主張するときの権利と責任	講義/演習	
9	医療におけるコミュニケーションの目的	講義	
10	意図的にコミュニケーションをはかる	講義/演習	課題シート
11	コミュニケーションスキルの活用(1) ケアに活かす情報を収集する	講義/演習	課題シート
12	コミュニケーションスキルの活用(2)	講義	
13	コミュニケーションスキルの活用(3)	演習	
14	コミュニケーションスキルの活用(4)	演習	
15	まとめ	講義	

使用教科書・教材・参考書

冊子「自他尊重のコミュニケーション～より良い人間関係を築くために～」使用

成績評価の方法

出席を重視し、出席状況と授業への参加態度を総合して評価する。70点
提出物、レポート30点

備考

授業科目名	心理学			担当教員	伊藤安代		
分野	基礎分野	教育内容	人間の生活・社会の理解	総単位 時間数	1単位 30時間	年次	1年次

授業概要

人間の心と行動について学び、自己と他者を理解する。また、成人への成長・発達に伴う変化と個人差について理解する。カウンセリング概説を学び看護カウンセリングにつなげる。

授業のねらい

1. 人間の心と行動について学ぶ。
2. 自己と他者の違いが理解できる。
3. 成人への成長・発達に伴う変化と個人差について理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	心理学とは	講義	
2	人間理解の諸方法 看護と心理学のつながりを考える	講義	
3	感覚・知覚の不思議	講義	
4	記憶のいたずら	講義	
5	ピアジェの発達段階	講義	
6	自分の知能はどれくらい？	講義	
7	心理学における「学習」とは	講義	
8	こころとからだ	講義	
9	ストレスとの付き合い方	講義	
10	性格検査は本当に当たる？	講義	
11	相手を説得する方法	講義	
12	エリクソンの心理・発達段階 死にゆく過程の5段階	講義	
13	聴き上手になるためのコツと基本姿勢	講義	
14	マインドコントロールと緩和ケア	講義	
15	患者の心理 患者と信頼関係を築くには	講義	

使用教科書・教材・参考書

系統看護学講座 基礎6 心理学 医学書院

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業科目名	社会理解特論			担当教員	渡部忠治		
分野	基礎分野	教育内容	人間の生活・社会の理解	総単位 時間数	1単位 30時間	年次	1年次

授業概要

看護の対象は生活している人間である。人間が生活している社会の構造・機能について学ぶ。現代社会の諸問題に対する視野を拡大し、自己の生活を概観することを期待する。

授業のねらい

1. 社会的存在としての人間を理解する。
2. 人間が生活している社会の構造・機能について学ぶ。
3. 現代社会の諸問題について理論点やトピックから学ぶ。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	社会とは何か 社会問題 発表準備	講義/演習	
2	社会問題 発表準備 日本とアメリカ、憎しみを超えて	講義/演習	
3	グループ発表	演習	
4	社会問題 発表準備 子育て不安と男性の子育て	講義/演習	
5	社会問題 発表準備 日本とアメリカ、憎しみを超えて	講義/演習	
6	グループ発表	演習	
7	発表準備	演習	
8	グループ発表	演習	
9	グループ発表	演習	
10	社会問題 発表準備 外国人労働者との共生	講義/演習	
11	グループ発表	演習	
12	グループ発表	演習	
13	発表準備	演習	
14	グループ発表	演習	
15	グループ発表	演習	

使用教科書・教材・参考書

DVDなど視聴覚資料
新聞

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度およびプレゼンテーション100点

備考

社会問題は、その時期に話題になっている問題を取り上げて演習を行います

授業科目名	家族社会学			担当教員	畑山 直子		
分野	基礎分野	教育内容	人間の生活・社会の理解	総単位 時間数	1単位 15時間	年次	1年次

授業概要

看護実践に必要な不可欠な最も身近な社会である家族の機能と役割を学ぶ。看護場面において家族支援を実践することにつなげる。

授業のねらい

1. 現代日本の家族のかかえるさまざまな課題について学ぶ。
2. 家族に対する社会的支援の重要性について学ぶ。
3. 看護場面で家族支援する際の基本的な理念について学習する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	家族とは何か？：家族の成り立ちと変遷	講義	
2	家族の成り立ちと変遷 日本型雇用慣行の特徴	講義	
3	結婚と家族(1) 役割と期待 結婚の現状	講義	
4	結婚と家族(2) 選択的夫婦別姓についてグループディスカッション	講義/演習	
5	出産、育児と家族(1) 社会状況の変化	講義	
6	出産、育児と家族(2) 出生前診断をめぐるグループディスカッション	講義/演習	
7	老いと家族	講義/演習	
8	家族の多様性	講義	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

使用教科書・教材・参考書

教員作成の資料

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業科目名	人間関係論			担当教員	品川 博二		
分野	基礎分野	教育内容	人間の生活・社会の理解	総単位 時間数	1単位 15時間	年次	3年次

授業概要

対人関係のありようが看護者の精神過程および行動にいかの影響しているかを理解し、よりよい人間関係の形成につなげる。実習での人間関係を振り返る機会とする。

授業のねらい

1. よりよい人間関係形成の方法を理解する。
2. 対人関係改善について理解する。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	自己過程、対人認知過程	講義/演習	
2	対人関係における心理防衛の構造	講義/演習	
3	うまくいかない人間関係の正体(1)	講義/演習	
4	うまくいかない人間関係の正体(2)	講義/演習	
5	うまくいかない人間関係の正体(3)	講義/演習	
6	看護者のメンタルヘルス1	講義/演習	
7	看護者のメンタルヘルス2	講義	
8	まとめ	講義	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

使用教科書・教材・参考書

なし

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業科目名	英語			担当教員	調 誠也		
分野	基礎分野	教育内容	人間の生活・社会の理解	総単位 時間数	1単位 15時間	年次	1年次

授業概要

看護に関する用語ならびに関連専門用語を国際的言語となっている英語で学び、医療英語の基礎を身につける。ロールプレイングでは体験的に学ぶ。

授業のねらい

1. 外国人患者特にベッドサイドにおいて円滑な意思の疎通を可能とする能力を養う。
2. 医療分野の専門用語・専門知識を英語で学び、英語が多用される医療現場に対応できる力を身につける。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	初対面の患者と接する際(挨拶など)の表現	講義/演習	
2	患者の個人情報収集する際の表現	講義/演習	
3	入院時案内の際の表現	講義/演習	
4	患者の生活習慣、日常生活を収集する際の表現	講義/演習	
5	病院ではたらく人達の名称 痛みについて尋ねる表現	講義/演習	
6	病歴をとる際の表現 一般的な病名	講義/演習	
7	バイタルサインをとる際の表現 人体各部の名称、看護師が使う医療機器	講義/演習	
8	退院時の表現 人体の各部の名称	講義/演習	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

使用教科書・教材・参考書

臨床看護英語
教員が作成プリント

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

辞書

授業科目名	国際理解と言語			担当教員	景 英淑		
分野	基礎分野	教育内容	人間の生活・社会の理解	総単位 時間数	1単位 30時間	年次	2年次

授業概要

海外との交流に役立つ英会話力・読解力を養うため設定した。また、海外の看護・医療の現状を知り、わが国の看護のあり方を考察する機会とする。海外研修では机上で学んだことを実践する。

授業のねらい

国際化社会に対応しうる英会話の基礎を学び、看護英語の文献を活用し、海外の看護に関心を持つ。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	ガイダンスとSNS影響について	講義	
2	二つの思想システム	講義/演習	
3	音声言語と文字言語 状況依存的な思考と形式論的な思考	講義/演習	
4	言語のメディアウスの輪	講義/演習	
5	ジェンダーロールとフェミニズム	講義/演習	
6	ジェンダーロールとファッション	講義/演習	
7	ガラスの天井 社会に依存する目に見えないバリアについて	講義/演習	
8	最低賃金と性平等との関係	講義/演習	
9	差異とその具体的な差別の例	講義/演習	
10	固定概念と差別	講義/演習	
11	人工知能と第4次産業革命	講義/演習	
12	人工知能と機械学習	講義/演習	課題:課題シート
13	日本の保健・医療と海外の保健・医療	海外研修	
14	海外での文化交流	海外研修	
15	海外での文化交流	海外研修	

使用教科書・教材・参考書

なし

成績評価の方法

筆記試験60点 レポート35点 出席状況、参加状況5点

備考

授業科目名	保健体育			担当教員	土居 進		
分野	基礎分野	教育内容	人間の生活・社会の理解	総単位 時間数	1単位 30時間	年次	1年次

授業概要

肥満・メタボリックシンドロームなど身体機能の科学的分析を学び健康の維持・増進における運動の重要性を学ぶ。野外活動や実技を通して心身の健康の促進とチーム力を育む。

授業のねらい

1. 運動にともなう心身の変化、適応について実技を交えながら学ぶ。
2. 野外活動を通じてリーダーシップ、メンバーシップ等を学ぶ。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	健康日本21(1)	講義	
2	健康日本21(2)	講義/演習	
3	筋の種類と構造	講義/演習	
4	エネルギー供給の仕組み	講義/演習	
5	身体組成 BMI 体脂肪率の求め方	講義/演習	
6	肥満と運動	講義/演習	
7	トレーニングと食事(1)	講義/演習	
8	トレーニングと食事(2)	講義	
9	ヘルスプロモーション	講義	
10	性教育	講義	
11	野外活動(1)	演習	
12	野外活動(2)	野外活動	
13	野外活動(3)	野外活動	
14	野外活動(4)	野外活動	
15	試験	試験	

使用教科書・教材・参考書

教員が作成した資料

成績評価の方法

筆記試験100点

備考

授業科目名	共に学ぶ健康と生活			担当教員	多田真理子 遠藤のり子		
分野	専門分野	教育内容	人間の生活・社会の理解	総単位 時間数	30時間	年次	1年次

授業概要

何のために何をやり遂げたいのかを一人ひとりが明確に持ち、意思ある学習をしていくための基本的姿勢を身につける。学ぶために必要な「聴く力」「話す力」「読む力」「書く力」「調べる力」の基本を身につけられるよう講義・演習を行う。自分自身の身体に対する気づきを喚起する機会となる。

授業のねらい

1. プロジェクト学習を通して自ら学習していく姿勢が身につく。
2. 自分自身の健康と生活に対する気づきを得る。

授業内容および方法

回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	健康と生活(1)	講義	
2	健康と生活(2)	講義	
3	健康と生活(3)	講義	
4	健康と生活に関する課題抽出	講義/演習	
5	健康と生活に関する課題の明確化	講義	
6	ビジョンとゴールの設定	演習	
7	ゴールへ到達に向けた計画立案	演習	
8	情報リサーチ(1) 情報収集①	演習	
9	情報リサーチ(2) 情報収集②	演習	
10	情報リサーチ(3) 情報の見極め	演習	
11	情報リサーチ(4) 情報の整理	演習	
12	製作(1)	演習	
13	製作(2)	演習	
14	プレゼンテーション	演習	
15	凝縮ポートフォリオの作成	演習	課題シート

使用教科書・教材・参考書

系統看護学講座 専門分野Ⅰ 看護学概論
 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論

成績評価の方法

筆記試験50点 プレゼンテーション20点 成果物(凝縮ポートフォリオ)30点

備考